

令和 4 年 7 月 14 日

大学院入学試験志願者各位

日本大学大学院法学研究科  
日本大学大学院新聞学研究科

令和5年度 大学院法学研究科・新聞学研究科入学試験における  
新型コロナウイルス感染症への対応について

標記のことについて、依然として新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されている状況であることから、日本大学大学院法学研究科及び新聞学研究科では、下記のとおり十分な感染症対策を講じた上で、入学試験を実施いたします。

なお、具体的な感染症対策につきましては、文部科学省より通知されております、『令和5年度大学入学者選抜実施要項について(通知)』及び『令和5年度大学入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した試験実施のガイドライン』(令和4年6月3日「大学入学者選抜協議会」決定)に基づき、以下のとおり実施いたしますので、志願者各位におかれましては、御確認をくださいますようお願いいたします。

**【入学試験時における感染症対策】**

- 口述試験担当者及び係員のマスク着用を義務付けます。
- 各試験室(教室)の入退出を行うごとに、アルコール等による手指消毒を義務付けます。
- 口述試験担当者及び係員について、試験7日前より係員(職員)の体温を測定及び記録し、健康観察を行います。
- 各試験室(教室)の机・イスの消毒を実施します。
- 「三つの密」の状況を避けるため、1教室あたりの人数は原則として収容定員の半数までに留めるようにします。
- 筆記試験では原則として座席同士は1m程度の間隔を確保します。
- 筆記試験では科目終了ごとに10分以上窓を開放するなど、十分な換気を実施します。
- 急遽、体調不良になられた方のために、別室受験室の用意をします。
- 口述試験担当者と受験生の間隔は2m以上離します。
- 試験室等は、換気のため、試験時間中も含めてドア等を開放することがあります。

## 【志願者の皆様へお願いしたいこと】

- 校舎内では昼食時以外は常にマスクを着用し、休憩時間や昼食時等における他の受験生との接触、会話は極力控えてください。
- 昼食休憩時は、昼食の持参及び自席での黙食をお願いいたします。
- 指定された時間以外は食事を取らないよう、お願いいたします。
- マスクを校舎内では廃棄しないよう、お願いいたします。
- 帰宅時は寄り道などせず、帰宅後はまず手や顔を洗うよう、お願いいたします。
- 試験日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関で受診いただくよう、お願いいたします。
- 日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保等を行うとともに、体調管理に心掛けるよう、お願いいたします。
- 試験時間中も含めて換気を実施することがあるため、体温調節が可能なよう、上着等が必要な方におかれましては準備いただくよう、お願いいたします。
- やむを得ない事情によりマスクを着用することが困難である場合は、日本大学法学部教務課 大学院入試係(TEL:03-5275-8502)まで御相談ください。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードを推奨(必須ではありません。)しております。

## 【留意事項】

- 出願後に体調不良や発熱・咳等の症状がある場合や、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、またその恐れがある場合、保健所等から濃厚接触者に該当するとされた場合は、事前に必ず、日本大学法学部教務課 大学院入試係(Tel:03-5275-8502)まで御連絡くださいますよう、お願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない方は受験することができません。予め御了承ください。
- 出願後に体調不良や発熱・咳等の症状がある場合や、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、またその恐れがある場合、保健所等から濃厚接触者に該当するとされた場合は、医師の診断書等、根拠資料提出を条件に配慮措置について、検討を行います。ついては、試験当日37.5度以上の熱がある場合は、受験を取り止め、配慮措置の利用について検討いただくよう、お願いする場合があります。また、試験の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生の方についても、配慮措置の利用について検討いただくよう、お願いする場合があります。

以 上